

第2次甲賀市多文化共生推進計画（見直し）概要版

基本理念：「お互いの違いや良さを認め合い、
ともに新しい市民文化を創造するまちづくり」

期間： 令和2年度～令和10年度

めざす姿： 国籍や民族などのちがいににかかわらず、すべての市民が・・・



1. 同じ地域で共に生き、互いに支え合う



2. 個性や能力を十分に発揮し、
多様性に富んだ社会に参画する



3. ライフステージに応じた支援を受け、
安心して暮らす

背景・現状と課題

改定の背景

- ・外国人市民の増加（4,959人、人口の5.7% ※R7.12時点）
- ・国の制度改革（特定技能の拡充、技能実習の廃止、育成就労の創設など）
- ・県内初「甲賀市多文化共生センター」開設（R6.5）に伴う現場の気づき反映と施策の転換期。

現状・新たな課題

- 【生活・地域】文化の違いによるトラブル（ゴミ・騒音）。高齢化（ブラジル国籍）と乳幼児期増（ベトナム国籍）への対応。
- 【教育・情報】多様化する日本語学習ニーズと指導者の確保。外国にルーツをもつ子どもの受入体制、役割分担の明確化。
- 【防災】外国人市民への防災教育、避難所における外国人受入環境の整備。

施策の体系・主な取組

目標1：多文化共生の意識定着と社会参画の促進

- 新規** 外国人コミュニティリーダーの育成
- 新規** 通訳・翻訳ボランティア制度の運営
 - ・やさしい日本語の普及と行政の国際化

目標2：情報提供と日本語学習の推進

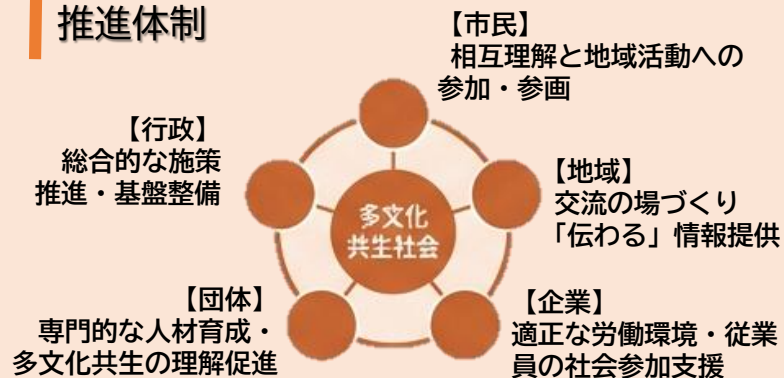
- 新規** 生活オリエンテーションの実施
 - ・ニーズに合わせた多様な日本語学習機会の提供
 - ・ICTを活用した多言語相談体制・一元的相談窓口

目標3：安心して暮らせる生活環境づくり

- 新規** 不動産業者との連携による居住支援
 - ・外国にルーツをもつ子ども受入体制の整備
- 新規** 避難所における外国人受入の体制整備

推進体制・主な成果指標

推進体制



進行管理：甲賀市多文化共生推進委員会・庁内チームによる毎年度の点検・評価

主な成果指標

